

第5回松本市平和三行詩コンクール 作品集

募集期間： 令和8年5月18日から6月5日まで

主 催： 松本市・松本市教育委員会

目次

1 全体講評

2 入賞作品

- (1) 小学生の部 4 ページ
- (2) 中学生の部 5 ページ
- (3) 一般の部 6 ページ
- (4) 松本ユース平和ネットワーク賞 7 ページ

3 応募作品

- (1) 小学生の部 9 ページ
- (2) 中学生の部 60 ページ
- (3) 一般の部 72 ページ

全体講評

日本は、見上げれば青い空が広がり、爆弾が落ちてくる恐怖におびえることもなく、穏やかな日々を過ごすことができます。しかし世界には、この瞬間も、紛争によって相手からの攻撃におびえ続けている人々がたくさんいます。新聞の紙面やテレビ画面、インターネットからは、現実とは思えない悲惨な状況を伝えるニュースが流れてきます。日本にいと、現実のものという実感が湧いてきません。

今回の作品には、今の日本の平穏な日々が続くことを願う姿や、昔の日本に想いを馳せる姿、世界のすべての人の平和を祈る姿等、作者の様々な視点による想いや願いが込められています。表現の仕方にも工夫が見られ、読み手が一瞬で引き込まれます。何より、戦争を許さない、平和を希求したい、という願いが伝わってきます。この願いを、多くの人々が共有し、世界の平和が当たり前となるよう、私自身も祈り続けます。

松本市教育委員会

教育長 曾根原 好彦